

志賀郷地区で1400年の歴史を誇る伝統行事「若荷祭」は今 年も2月3日、金河内町の阿須々伎神社(佐々木真雄宮司)で古式ゆかしく執り行われた。冬の志賀郷地区の風物詩といえる若荷祭が終わった阿須々伎神社の境内は今、元の静けさを取り戻して いる。しかし内久井、金河内、坊口、仁和の4町の総社である同

## ふるさと探訪



[37] 神社に はほか にも紹介 したい多 くのもの がある。



内町(太刀振り、狂言、太鼓)、坊口町(花の踊り、能、太鼓)、仁和町(露払い、太刀振り)となつている。多彩な芸能がいつ、どのようにして始まつたのか、確かなことは不明だという。しかし

古くから阿須々伎神社にあり、今も秋の祭礼の弓道射場に掲げられていた額の中に納められた第7回四都市体育大会弓道の部の出場選手と役員らの集合写真

江戸中期の享保6年(1721)に氏子たちは、ほかほかと紹介したい多くのものがある。

まず神社の境内全体が府文化財環境保全地区に指定されている。また秋の祭礼では毎年、各町ごとに輪番で江戸中期の享保6年(1721)に氏子たちは、ほかほかと紹介したい多くのものがある。

芸能を奉納している。こうした芸能のほ

り、柿葺きである。能面は南北朝時代のものであることが分かつていて。他の神社であり見か

う。

## 知られざる阿須々伎神社



額の中の写真の裏に入付けていた昭和16年10月5日付の「少國民新聞」を持つ梅垣さん

## 四都市大会を開いた射場

年5月17日に同神社の射場で開催された「第7回四都市体育大会」弓道の部に出席した選手と役員計66人の集合写真だった。

梅垣さん自身も若い頃から弓道をしており、當時のことなど知っている。写真を見る

内町(太刀振り、狂言、太鼓)、坊口町(花の踊り、能、太鼓)、仁和町(露払い、太刀振り)となつている。多彩な芸能がいつ、どのようにして始まつたのか、確かなことは不明だという。しかし

古くから阿須々伎神社にあり、今も秋の祭礼の弓道射場に掲げられていた額の中に納められた第7回四都市体育大会弓道の部の出場選手と役員らの集合写真

## 額縁の裏からヒトラーの演説伝える「少國民新聞」も

いたとは驚かされる。

当日は、各町から選を務める梅垣正一さん。額縁の写真は地元のなっていた重鎮の顔が同神社の弓道射場で半

年の間に練り込む。何かの原因で外れて下郎さん、綾部市の小西乙治と、舞鶴市の小西乙治に選ばれた遠因や背景には阿須々伎神社の存在があつたのかもしれない。いずれにしても

昭和63年に開かれた

京都国体では綾部市が

日新聞社発行、昭和16

年10月5日付)が挿入され、見出しにヒトラーの写真

ツは戦ひ抜くヒト

ラー總統の演説の見

出しが1面左下に載っていた。

昭和63年に開かれた

京都国体では綾部市が

日新聞社発行、昭和16

年10月5日付)が挿入され、見出しにヒトラーの写真

ツは戦ひ抜くヒト

ラー總統の演説の見

出しが1面左下に載っていた。